液晶付きトランシーバー

WFDI-TC3A

# 簡易説明書

クリアトークカム by TB-eye

操作説明詳細
（動画つき）⇩

cleartalkcom.net/operation

## 準備

子機ケースにしまう

※ 破損などを防ぐため、ご使用時は本機を子機ケースに入れてください

イヤホンコードの留め方

※ マイクのジャックは奥まで（カチッという音が鳴るまで）刺しこんでください。

# 01 起動

## 01-1 電源を入れる

※ 完全に起動するまで約 40 秒かかります

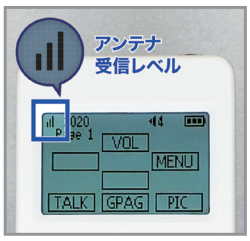
本体上部の白い電源ボタンを
**約 4 秒間**押します
液晶のバックライトが点灯したら
電源 ON 状態です

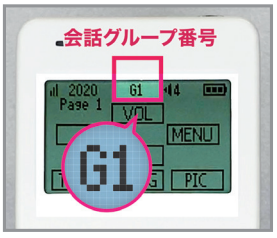
液晶画面の上段に
❶ **[ アンテナ受信レベル ]** と
❷ **[ 会話グループ番号 ]** の
2 つとも表示されたら通話可能です

通話可能な状態

## 01-2 通話可能か確認する

❶[ 受信レベル ] と ❷[ グループ番号 ] の表示確認




**確認❶ アンテナ受信レベル**

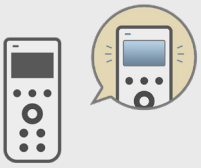
受信レベルアイコン左上に
「× マーク」が付いている時は
電波の圏外です

圏外のとき ▶

**確認❷ 会話グループ番号**

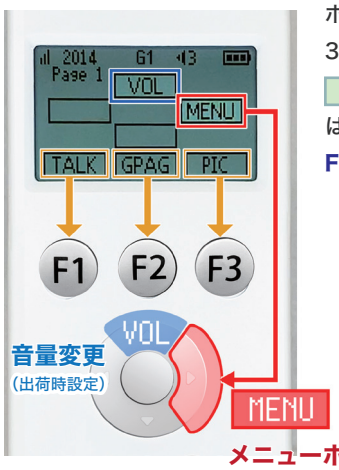
画面上段 真ん中に
会話グループ番号 (G1-G16)
が 表示されたら
通話機能が使用できます

# 02 電源の切り方



電源を切る際も
液晶バックライトが**消灯**するまで
**電源ボタンを長押し**します

# 03 液晶画面（ホーム画面）の見かたと対応ボタン

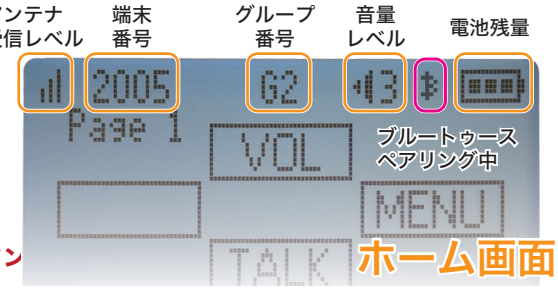



ホーム画面下段の
3 つの表示

はそれぞれ
**F1　F2　F3 ボタン**

ホーム画面中心の 4 つの表示

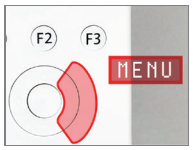
はそれぞれ
**リングキーの上下左右**に対応します




## リングキー 右 [MENU] 子機設定メニューの操作手順 03-1

メニューボタン

**01** ホーム画面で
リングキー右 **[MENU] ボタン**を押すと
子機の MENU 画面が表示されます。




メニューボタン

**02** MENU 画面状態でリングキーの**上下ボタン**を押すと

上下ボタン

- **Assign**（子機本体ボタンの機能割り当てを変更）
- **Network Info**（ネットワーク情報の表示）
- **Default MIC ON**（グループ選択時の PTT 状態を選択）
- **Version**（ファームウェアのバージョン確認）
- **Mic Volume**（マイク入力音量の調整）
- **BT Pairing**（Bluetooth 機器端末とのペアリング & 解除）

を**順繰りに**選択する事ができます。

**03** 操作したい項目を選び**リングキー中心 決定ボタン**
を押下すると、各項目の操作画面に遷移します。

決定ボタン

戻るボタン

各メニュー項目を操作し終えたら
リングキー左 **[ 戻る ] ボタンの 2 回押し**で
ホーム画面に戻れます。

各メニューの詳細は操作説明書および公式サイト
[ サポート・サービス ] ページよりご確認ください。

cleartalkcom.net/operation/#tc3_menu

# 04 通話機能 [TALK] を使う

## 04-1 マイクボタンを使った通話

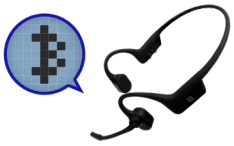
専用マイクの PTT ボタンから通話できます。

専用マイクはマイク側面のボタンを押している
あいだだけ通話状態になります。

**撮影モデル：**コントロールマイク
WFDI-CM3( 指向 ) /WFDI-CM3S( 無指向 )

## 04-2 ハンズフリー通話

会話ボタン [TALK] が
**割り当てられた本体ボタンを押すと**
**液晶右上に [PTT] の文字が点灯**し
通話状態に入ります。



## 04-3 Bluetooth® 接続

Bluetooth 機器とのペアリングが可能です。

※Shokz ヘッドセットのマルチファンクションボタンは
**[TALK] 割当て時の F1 ボタンと**
**同じ動作**（ハンズフリー通話）です。

Bluetooth® 接続手順 _QR ➡
cleartalkcom.net/operation/#pairing

**TALK ボタンの位置**

本体の会話ボタン [TALK] は
出荷時設定で [ F1 ] キーが
割り当てられています
（割り当ては変更が可能です）

## 04-3 ハンズフリー通話の切り方

**もう一度**、会話ボタン [TALK] **を押して**
通話（PTT) を切ります。

## 04-4 勝手に通話状態 (PTT) になる場合

➡ 子機設定メニュー [MENU] から、
Default MIC On の
設定項目を確認してみてください。

release: 2023.11.15　ver2.2

# 01 充電方法①（本体底面の USB-C コネクタから充電する場合）

専用充電器
WFDI-BTC-USB

01. 本体電源ボタン長押しで
事前に電源を切ります

02. TC3 対応充電器の
USB TYPE-C コネクタを
本体底面の充電端子に
カチッと音が鳴るまで差込みします

03. 充電中は本体右上に
赤いランプが点灯します

04. 子機が完全に
充電されると
赤ランプが消えます

! USB ケーブルは必ず真っ直ぐに差し込んでください。
斜めから差し込むと本体充電端子破損の原因になります。

# 02 充電方法②（本体からバッテリーを取り外す場合）

専用充電器　WFDI-BTC-B

## 02-1 本体からバッテリーを取り外す

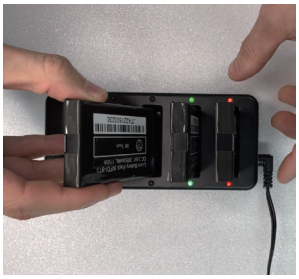
01. 本体背面のウラブタを
矢印の方向にスライドして取り外します。

02. ウラブタを外すと
バッテリーパックが現れます

03. バッテリーパックの両脇を挟み手前に引き出し、バッテリーを取り外します

## 02-2 取り出したバッテリーを充電器のスロットに差し込む

01. バッテリーパックを取り外し、



02. バッテリーの接点の部分が充電器の接点と合うように
充電器のスロットにバッテリーパックを差し込みます

### 充電器スロット横のランプの色で充電状態が確認できます

**充電中：赤ランプ点灯**

充電器スロット左右のランプが
赤く点灯していれば
充電が開始できている状態です

**満充電：緑ランプ点灯**

ランプが緑色に変わると
バッテリーは満充電の状態に
なっています

## 02-3 充電済みバッテリーを本体に戻す

01. バッテリーの接点の部分と
本体の電池ケース側の端子の部分を
確認していただき、
合わせるように取り付けていきます

02. 交換用バッテリーパックを
はめこみ直してウラブタを閉めます

## 使用上のお願い

- WFDI-TC3A および WFDI-CM3・CM3S は防水ではありません。
- バッテリーパックの寿命はおよそ、充放電回数約 500 回が目安となります。
  - 充放電回数 500 回以下でも、動作時間が極端に短くなった場合は
    バッテリー寿命と思われます。新しい専用のバッテリーをご購入ください。

## 操作の詳細

詳しくは
「WFDI-TC3(A) 操作説明書」
をご覧ください。

cleartalkcom.net/operation

## その他 動作でお困りの時は

FAQ ページと動画形式のマニュアルを
公式サイトにてご用意しております。

cleartalkcom.net/tc_faq